

第 07-3006 号

新庄浄水場変圧器他更新工事

特記仕様書

令和 7 年度

葛城市水道課

第 1 章 総 則

1. 適用範囲

この仕様書は、「第 07-3006 号 新庄浄水場変圧器他更新工事」に適用する。

この仕様書、設計書（設計図）に記載のない事項については、公益社団法人日本水道協会発行「水道工事標準仕様書【設備工事編】」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建設工事標準仕様書（建築工事編）」、「公共建設工事標準仕様書（機械設備工事編）」、「公共建設工事標準仕様書（電気設備工事編）」の最新版に準じるものとし、その他は監督員との打合せにより決定する。

2. 法令、関係規定の遵守

受注者は工事の施工に当たり、関係する諸法令、基準ならびに規定等を遵守し、業務の円滑な進歩を図るとともに、諸法令等の適用・運用は受注者の責任と費用負担において行わなければならない。

3. 基本事項

本工事は、契約書、特記仕様書および設計書（以下「設計図書」という）に基づいて行い、設計図書に明記されていない事項については、監督員と協議・確認のうえ実施する。

4. 提出書類

契約事項に関する書類のほか、次の書類を提出すること。ただし、その他に監督員が必要と認めた書類は追加で提出すること。

ア 使用機器及び材料に関する承諾図書

イ 施工計画書（工程表含む）

ウ 施工体系図

エ 完成図書（工事記録写真を含む）（製本2部、CD-R 1部）

5. 疑義

設計図書に定める事項について疑義等がある場合は、監督員と協議のうえ決定すること。

6. 関係各所への調整・手続

受注者は関係諸官庁、他企業、地元および第三者に対する一切の手続きを行うとともに、その経過については速やかに監督員に報告すること。なお、手続き等に必要な経費は受注者の負担とする。

7. 機械器具および工事用材料の管理

工事に使用する各種材料および機械器具は、工程表に従い工事の進捗に支障の無いよう手配するとともに、品質管理および保管管理等は受注者が行うものとする。

8. 機器の機能保持

受注者は工事完了の際、試験運転開始までの機器の機能保持に必要な措置を講じなければならない。

9. 事前調査

受注者は工事着手に先立ち、現地の状況、関連工事等について綿密な調査を行い実状を把握のうえ、工事を施工すること。

10. 障害物件

工事期間中、障害物件の取扱いについては監督員と協議のうえ監督員の指示に従うこと。

11.衛生管理

受注者は、水道施設構内又はその付近での作業に当たって、関係法令を遵守し、衛生管理に十分注意すること。

12.安全管理

受注者は、工事の施工に当たり関係法令を遵守し、労働災害、公衆災害等の防止に必要な措置を講じ、安全管理に努めなければならない。

受注者は、酸素欠乏危険個所、高所、地下、道路上その他特に危険が予想される箇所では事故防止に努めなければならない。

受注者は、火気を使用する場合、十分な防火措置を講じなければならない。

13.作業時間

作業時間は原則として発注者の勤務時間に倣うこと。ただし、土・日曜、祝日および平日時間外の作業を行う場合には、事前に監督員に報告し承認を得るものとする。

14.工程等の打合せ

受注者は工程等について、事前に監督員と十分な協議および確認、連絡のうえ、浄水場等の運転業務に支障を与えないよう十分注意したうえで、工事を遂行すること。

15.事故および機器の不具合

受注者は、工事施工中に人身事故および第三者に損害を与えた事故、施設または設備機器または周辺地域に影響を及ぼす事故が発生した場合は、直ちに監督員および関係各所へ連絡しなければならない。また、受注者の責任に帰する事故および機器等の不具合については、受注者の責任と負担により速やかに処置するとともに、監督員へも速やかに報告しなければならない。ただし、責任の所在が明確でない場合には、その都度、監督員と受注者で協議のうえ決定する。

第 2 章 工 事

I.工事目的

本工事は、新庄浄水場高圧受電設備について以下の内容を実施し、その機能の維持及び回復を目的とするものである。

ア.高圧単相変圧および高圧進相コンデンサの更新

イ.既設の高圧単相変圧および高圧進相コンデンサの PCB 含有検査

ウ.漏電火災報知器および零相変流器の取替

エ.メーター類修繕

II.工事対象設備

- ・ 高圧単相変圧器（油入） 6600V/210-105V 10kVA 60Hz
- ・ 高圧進相コンデンサ（油入） 6600V 7.02kVA L=6% 60Hz
- ・ 漏電火災報知器
- ・ 零相変流器
- ・ 電流計、電圧計、電力計、力率計
- ・ 撤去品搬出・運搬・処分（微量 PCB 含有の場合は別途協議）

Ⅲ.施工

- (1) 設計図書に示された設備が、その機能を完全に発揮できるように施工すること。

設計図書に明記の無い場合でも、当然必要な処置は誠実に施工すること。

- (2) 設計図書、監督員の承認を得た承認図および施工図等に従って施工すること。

- (3) 経験豊富かつ優秀な技術を有する技術者を従事させること。

- (4) 資格、認定等を必要とする業務については、当該資格等を有する者に行わせること。

- (5) 大型機材の搬入は計画を立案し監督員の確認を得ること。

- (6) 機器の据付けにあたっては周囲の環境に対して十分考慮するとともに、据付ける機器の性能を害さないよう水平垂直等に対して十分注意して施工すること。

- (7) 受注者は、業務による不良部品等の交換、または特別の機材を必要とする補修等が発生した場合、その内容を監督員に速やかに報告しなければならない。

- (8) 受注者は、他の工事現場が隣接する場合、または同一場所において施工する別途工事がある場合には、常に相互協調し、支障をきたさないように処置しなければならない。

(9) 施工の際は浄水場設備の稼働を停止しないように仮設発電機器等を用意し

停電時間が可能な限り短くなるよう、事前に発注者と十分協議を行い計画、

立案すること。(仮設配線図参照)

(10) 本工事の施工に関して、関西電力送配電㈱が実施する高圧用電力量計変

成器の取替工事の施工を妨げないよう相互協調する形で計画、実施すること。

